

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	令和2年2月10日（月曜）13時30分～15時25分
場 所	大阪市役所本庁舎5階秘書担当会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)： 清水特別参与 山本特別参与 (職員等)： 政策企画室（市民情報部長・広報担当課長 外4名） 副首都推進局（戦略調整担当課長代理 外3名）
論 点	・大阪市の各種広報媒体及び広報手法について
主 な 意 見	(大都市制度周知広報) ・いつ、何があるのかを示すことで、市民は特別区制度に関する議論を身近に意識する。市民が身近に感じるように、最終的な住民投票実施のところを強調させると良い。 ・文章主体として見れば整理されているが、全体的に噛み砕いておらず、興味のない人には訴求しない。文字量が多くなるのであればページ数を増やしたり、紙の大きさを変えて余白と余裕を持てると良い。 ・手に取る人はロジックで見ないので、伝えたいことは絞り、プライオリティをつけた方が良い（文字の大小や興味のある順にする等）。 ・行政として発行するのであれば、発信内容に言い過ぎはないか意識しておく必要がある。 (広報クオリティ確保の取組み・ちらしテンプレート) ・ちらしテンプレート作成業務委託の事業者提案については、実際にそれを利用した担当者からの意見を集約し反映させていくのであれば、今のベースで進めていけばよい。 ・ちらしの問い合わせ先欄をフォーマット化する是非については、そうすることで得られることと失うことの検討が必要。
結 論	・本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関係所属 (部 課)	政策企画室市民情報部広報担当 副首都推進局戦略調整担当